

ウルから召されたアブラハム (創12:1-4)

失敗する人は、過去にとらわれ、抜け出せず傷を持っていたり、過去に浸って溺れている場合が多いです。そのため、現実のさまざまなことに、悩み、引っかかり、少しなにかがあると執着してのめり込んでいきます。そして、未来のことは不安に思っています。たとえ、なにかの夢を描いて、未来像を描いているとしても、それは、幻のようなもので必ず壊れてしまいます。これが、現場の姿です。そのような現場に、灯台の役割をするべき信者が、未信者と同じ姿であることは、とても残念なことです。現場で振り回されるのは、自分が弱くて足りないからだ、自虐的になっていますが、それは間違いです。現場の灯台として輝けない理由は別にあります。

自分が神様が選ばれ、召された特別な者だという確信がないから

です。神様に召されるきっかけは、人それぞれいろいろあります。しかし、そのようなきっかけとは関係なく、神様は世界の基が置かれる前から、選んでおられました(エペソ 1:4)。神様が愛ゆえに選ばれた、これが条件です。ですから、召された人の条件はまったく関係ありません。それをアブラハムから見てみましょう。アブラハムは、ウルというところから召されました。召されたアブラハムの状態は、アダムとエバのときに神様に罪を犯して、神様から離れ、サタンに捕われ、地獄の運命を生きるようになったそのままを背負っている状態でした。そこに、カインのように努力(宗教的ながんばり)で、どうなるかと思っていたのに、限界がきて壊れたこと、また、肉の豊さによって幸せになれると思いき、その結果、偶像の奴隷になり、ネフィリムののろいを受けるしかなくなったこと、そして、成功を求めて崩れるしかない幻を求めていたこと、それらすべてをアブラハムは背負っていたのです。そのことをまったくわからずに、世界中は完全に偶像だらけになり、アブラハムの家系は、偶像を製造する者になっていま

した(ヨシュア 24:2)。ところが、不思議な神様の愛によって、人間的な条件とはまったく関係なく、神様が尋ねて来られ、そこから引き揚げ、キリストの中に、祝福の中に召してくださったのです。神様の選びと召しは、人間のなにかとはまったく関係ない、無条件のものです。そして、ただひとつだけ、「わたしが示す地に行きなさい」と言われました。それは、カナンの地、キリストが来られる地に行きなさいということです。ただキリストによって、召されたのです。自分は、ただキリストによって神様に召された特別な存在だと確認しましょう。

召されたとたん、あなたは祝福の基だと言われます。完ぺきな祝福を宣言してくださったのです。キリストゆえに召された以上、神様に完ぺきに祝福された存在です。祝福の者であり、幸いな者であることを味わいましょう。イエスを信じる人なら、

どんな人でも、罪と死の原理から完璧に解放されています。解放だけではありません。完ぺきな祝福として、神様ご自身が内にいのちとして宿ってくださるようになります。いのちの祝福です(エペソ 2:4-6)。キリストとともに生かし、ともに天のところに座らせてくださったと言われています。肉体はこのままでキリストによって私が神様といっしょになったのです。霊的なすべての祝福が与えられています(エペソ 1:3)。罪人であったのに、その者を義と認め、栄光に富んだ者にしてくださいました(ローマ 8:30)。完ぺきな祝福はだれも奪うことはできません(ローマ 8:39)。どんなことの中でも圧倒的な勝利者となります(8:37)。すべてのことを働かせて益とされるのです(8:38)。死ぬことすら益となる(ピリピ 1:21)恵みの中に入れられ、神様の栄光を大いに喜んで賛美するようになっています(ローマ 5:2)。これが、イエスをキリストと信じただけで、与えられている完ぺきな祝福です。おそれ、うらやみ、問題、引っかかることが必要ない、祝福の中に入れてもらっているのです。



そして、現場で、いまだに問題を抱えてさまよっている人に、イエスの救いにあずかれるように、祝福を伝える基にされています。イエス様がなされたことより、まさることをすることができます(ヨハネ 14:12)。福音宣教のために、だれもできないこと、つまり、悪霊を追い出し、新しいことばを語り、蛇をもつかみ、毒を飲んでも害を受けなく、病人に手を置けばいやされる、ほんとうのいやしの働きができます。人を生かし、助ける者になっています。聖霊が臨まれると力を受けて、イエスの証人となるのです。

自分がどれほど尊い存在になっているかを確認しましょう。祝福の存在なので、無駄な考えや争いに巻き込まれる必要はないのです。世の光(マタイ 5:14)、王である祭司(1ペテロ 2:9)、イエスのかたち、キリストの使節です。それにふさわしい権威もあります。それゆえ、天使も仕えてくれる、いまも、のちも、永遠に幸いな者です。それを味わえ

ないようにサタンが邪魔します。ですから、灯台として勝利できないようにさせる理由は、自分の存在の尊さを忘れることだと心に留めるようにしましょう。

現場で信者の私がやることはひとつだけです。ウルを実際に離れましょう。すでに引き上げられ、解放されました。選ばれ、召され、完ぺきな祝福をもらった祝福の基だと、確認しましょう。それがウルを離れることです。現場を見る目が、世の中のものがすばらしいから、守るべきだと思われています。良いもの、当たり前のもになって、自慢すらしています。それから、離れ、見方を変えましょう。サタンによって作られた枠であり、牢屋にすぎません。そして、日本のウルの現場を見て、涙をもって祈りましょう。自分は現場の灯台として立てられたという意識を持って祈りましょう。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

創世記 12:1-4 ウルから召されたアブラハム

なるほど/信者が現場で失敗する理由は、弱くて足りないからではなく、自分が神様に召された確信がないゆえ、自分が祝福の人であることを知らないでいるので、現場に振り回されるからである。

ならば/現場灯台として召された祝福の確信を持って、今までの現場の当たり前を実は抜け出すべき滅びの枠だったと見る目を変えて、涙の祈りを始めよう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2019年2月3日)

1部礼拝： 古い枠を壊す根拠 (ヨシ 1:1-9)

私が行く職場、家庭、教会、現場の苦しみの中で、私は宣教師だという事実を覚えて、神様がいつもともにおられる神の人だということを感じて、味わうようにしていただき感謝します。神様がくださった血の契約を握って、神様が私とともにおられる証拠を味わいながら、家系、次世代、世界を生かしますように。すでに与えられた契約だけを握って、神様が願っておられること、神様の絶対命令に従って恐れずに世界を生かしますように。契約を持って神様が働かれた道に従って、今日、現場、崩れた世界の教会を生かす証人になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2部礼拝： 主が備えた新しい枠 (ヨシ 2:8-15)

私が祈って礼拝する時間に起きる霊的祝福を知って、まことのものを信じる信仰で、神様が準備した新しい枠を味わうまことの答えを受けるようにしていただき感謝します。神様がを行う伝道と宣教の流れの中で、全世界にイエス・キリストを伝えますように。ただ契約の中で神様のみこころを成し遂げる人になりますように。神様が準備した未来の中にある救いの人になりますように。神様の契約の中で、神様が成し遂げられることを見て味わいますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。